

## ミミー旅立の呼び掛け

20世紀の西側諸国では、出発が旅立ちのシグナルであり、旅自体をひとつの価値として捉えていました。しかし、現在ではあてどない放浪という概念はすっかり破綻しており、確実性というものが現在の目的地となっています。

MiMiコレクションでは、モードは、慣れた場所からあえて一歩踏み出す勇気や情熱の重要性を大胆に追求しています。

我々が現代を語る際には、グローバリゼーションという言葉がよく使われます。きわめて多岐にわたる欲求や願望は、現代ではおどろくほどの速さで物体と物質的な物の持つ不可動性と頑強な抵抗に突き当たってしまいます。モードの例で見られるような、デザインボキャブラリーのグローバルな仕組みには、それに対置されるもう一つの現象といえるローカルな仕組みが存在します。

トラディショナルな服装の中には、ローカルな語らいが在り続けます。そして、現代の流動性を象徴するかのように、この相反性がMiMiコレクションで明らかにされます。

すなわち、トラディショナルのシンボルとして—「昔はこうだったのだ」という感嘆として—まるで今はなくなってしまったもののように—最後の目撃者であるかのように。しかもグローバルな現代—通信網、絶え間ない変化、消費中毒—と絡まりあって。

我々はモードの言語をモニュメントと見るのか？または始まりの連続と見るのか？何度も市場に登場し、様々な時代に創造された流行（モード）のリサイクル版のようなスタイルのコピーならば、モードはモニュメントでありアイディアのない生物と言えるでしょう。

また、時代の中で歪んでいく流行とでも言う現代における現象は、「エシック」又は「エスニック」の色彩を帯びた服に現れています。これらの服は※「ビオエシック」すなわち我々の良心を満たすものであります。これらの服も又、力もアイディアもありません。

※ オーガニック

しかし、モードというのは、現代生活の縮図です。エドウイナ ホールの服は、この力を持っています。モニュメントになり、モード市場に周期的に出現するデザインボキャブラリーを再利用するのではなく、現代を映し出す形態を創造しています。MiMiでは、服という形態の数々が生きることの可能性と「どこか別のところで」魅力的に見せる活力をも持っています。これらの服は、風雨を避けるテントのように、この中で人

は安らげるのです。これらの服は、屈服で終わるのではなく、大海原や砂漠を渡る楽しさを表現しています。境界線を越える行為である可動性は偉大さの源泉—ミグレーション(外国への移住)と呼ばれる場の間の現代の細く歩きにくい道に対抗する可能性をもっています。

これらの服は慣れた環境から身をもぎ離す勇気を持てと、我々に呼び掛けているのです。そして、これは「とてもここまで出来ない」というものが放つ魅力でもあります。

こうして動く力が我々の胸に残るのです。

ここでサンーションペルスの「アナバス」からの文を付け加えて引用しておきましょう：

そして洗濯物が高く舞い上がった！八つ裂きにされた神父のように・・・

MiMi=Migrationと他のMix, MinoritätなどのMiをあわせたもの  
MiMi=日本語では耳の意味

Sylvia Kafehsy

MIGRATION

来る、行く、時に留まる

- A 歩いて去る、内側にいる - 外側にいる、浮氣する、青信号の国境、憧れ
- B バルカン半島化、”ボートは満員だ”、バリケード、爆発の危険、暴力、分担人員、分離する、亡命する
- C チャンス、コンテナ難民、”CHANGE. YES, WE CAN”、センター
- D “DAHAM STATT ISLAM”、ディアスボラ、”では遠慮なく”、団結する、同化措置
- E エジプトからの撤退、エクソダス
- F
- G ゲットー、”グリーン カード”、クローカル（グローバル&ローカル）、ドイツ語講習会出席義務、ドイツへの流入数、ドイツ移住者の割合、外国人嫌い、外国人好き、外国人法、外国人労働者子弟、”外国人労働者を呼んだのに人間が来た”
- H 皮膚の色、貧困度の限界、”不安が魂を食う”（ファスビンダーの映画）、ホテルの客室、人見知りする
- I 移民する、異化、生かせる、命を絶つ、言い分が正しい
- J ヨーデルを歌う、十字架、自分のもの&他人のもの、人種的思考、”十分といったら十分だ”

K 来る、警戒を強化する、格差、関与する、” 気味の悪い故郷” 、過度の外国化、故郷、帰化させる、結論がない、寄生する、着る、経済難民、国外退去させる、固定領域を解体する

L

M マルチ・・・、ミックス、マイノリティー、ミナレット、” 身分証明書を見せてください！ “、面倒な

N ノマド化する、脱ぐ、難民、入国する、流れる、仲間内、根を張る

O オープンハウス

P

Q

R 率 - 率 - 率

S 出身、” 自然の” 国境、周縁部の、周辺部、周辺集団の一員である、スラム、ショックをうける

T 逃亡する、天敵、” 土地と住人” 、手入れ

U

V ” volksgruppen”

W www、ワンダーフォーゲル、分ける

X X - 未知数

Y 野蛮人、要塞、猶予する、野次馬、夢見る

Z ” ジプシーになりたい”

## MIGRATION

硬い靴で歩く

A アウトドアシューズ、（イスラム系女性の）頭布

B ブルカ、ボレロ、バナナ型スカート、ぼろ切れ、ブーツ

C ケープ、チャイナドレス

D デイルンデル、弾薬帯

E エスパドリーユ、エスニック - ルック、エプロン

F フエルト靴、フータ、フロック、フロックコート

G 外国人労働者ルック、下駄、ゴム底

H はだしで歩く、袴、平底靴、房飾り、襞

I インディゴ、インター・アクティヴなワンピース（？）、衣装

J イエス風サンダル、ジーンズ、ジヨドバーズ

K 皮製ワンピース、皮製ミニスカート、衣、腰布、ケピ、カフタン、着物、かぎ裂き

L ライオンの毛皮

M モカシン、モスリン、前掛け、短い前掛け、民族衣装、喪服、マント、袖なしマント、巻きスカート

N 縫い目、ニッカーボッカ、ネクタイ

O

P パツチワーカ、パジヤマ、パレスチナ人の頭布、ピンヒール（？）、ペチコート

Q

R 礼服、旅行着

S 素足に描いた靴をはく、スーツ、修道服、サックドレス、サリー、ショール / シャマ（？）、スリッパ、サッシュ、袖なし雨合羽

T トルコ帽、継ぎの服、トップレス、トルコ風ズボン、手袋、Tシャツ、足袋、チャドル、ターバン、チュニック、薦職ズボン、チロルハット、登山杖、登山靴、登山服

U 上張り

V ヴェール、ベルベット、ビニール

W

X XL

Y ヨガ - ズボン、浴衣、指につっかけるサンダル

Z 頭巾、草履

Karin Ruprechter / translation Masako Kikuchi